

食育だより 学校給食記念日号

～学校給食を通して「食育」を考えよう～

西原小学校

令和4年12月23日発行

がつ か ちに

1月24日～30日は

ぜんこく がっこうきゅうしょく しゅうかん

「全国学校給食週間」です。

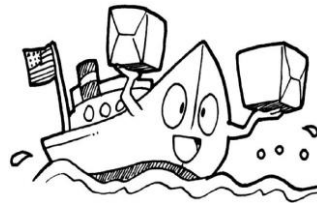


1月24日は「学校給食記念日」(文部科学省設定)です。毎年1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」と定めています。

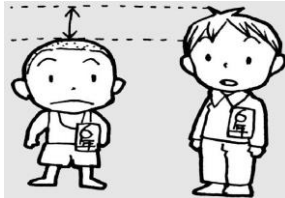
毎日あたりまえのように食べている学校給食には長い歴史があるのです。その歴史について考えてみましょう。



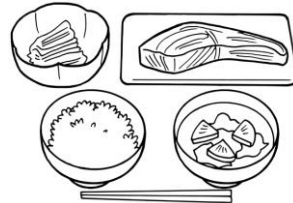
① 昭和20年、戦争に負けた日本は、食料が不足して、みんなおなかをすかせていました。



③ 日本の子供たちの様子を見たアメリカ政府が、給食物資を贈呈することに決めました。



② その頃の小学校6年生の体格は、今の小学校4年生くらいでした。



④ そして昭和21年12月24日から正式に学校給食が始まりました。

⑥現在12月24日は多くの学校が冬休みなので、1か月遅らせて、1月24日を「学校給食記念日」としました。

学校給食が始まった当時は、子供たちの栄養補給が大切な役割でしたが、70年近くたった今では、目的はそれだけにはとどまらず、食品や健康や栄養についての正しい知識や、マナーなどを学ぶことも求められています。学校では、この学校給食週間において、給食の長い歴史をふりかえりその役割や意味を見直す機会にしたいと考えていますので、御家庭でも話題にいただけると幸いです。よろしくお願ひします。

学校給食は、食材の生産者の方々や調理員さんなどが心をこめてつくったものであること、また、私たち人間の命を営むために動植物の命をいただいていることを、忘れずにいたいものです。普段から、感謝の気持ちをもって食べることを心がけましょう。

| 農業や漁業にたずさわるの方々 | 食材を納入してくれる業者の方々 | 給食を作ってくれる調理員さん | 大切な命 |
|----------------|-----------------|----------------|------|
| | | | |